まなべ

元気と夢を育む真鍋小学校

学校だより　令和３年５月１０日
土浦市立真鍋小学校（小中一貫校）　　文責　酒井　宏之

新緑の５月がスタートしました



素晴らしかった校庭の桜の花は散り，代わりに新緑の美しい桜となりました。

早いもので，始業式・入学式から約1ヶ月がたち，真鍋小学校の子供たちは落ち着いて勉強や運動に取り組むようになってきました。また，昼休みには待ちかねたように校庭に飛び出し，爽やかな風と光をいっぱいに浴びながら，楽しそうに遊んでいます。

例年であれば，真鍋小学校では春に運動会が行われていましたが，今年度は新型コロナ感染症の感染拡大状況により，秋に見送ることになりました。少し残念ですが，子供たちはそれぞれ目標を持ち，笑顔で学校生活を送っています。

５月も子供たちの安心・安全を第一に考え，「明日が待たれる元気と夢を育む学校」を目指して，職員一丸となって取り組んでいきたいと思います。

家庭確認　「ご協力ありがとうございました」

４月19日（月）～23日（金）まで家庭確認が行われました。その期間は全学年５時間授業（1年生は1年生日課）になり，保護者の皆様にもご協力いただき，ありがとうございました。日程通りに訪問できなかったご家庭もありましたが，お陰様で，無事家庭確認を終了することができました。職員一同，今後の学校生活に役立てていきたいと考えています。また，今後学校や担任に相談等がある場合は連絡いただければ幸いです。お忙しい中，お世話になりました。



避難訓練　「よくできました」

４月16日（金），悪天候のため延期になった避難訓練が実施されました。今年度は土浦消防署の方々に来校していただき，「地震発生→火災」という想定のもと行われました。校庭への避難指示が出た後，子供たちは，防災頭巾を頭にかぶり，私語もほとんどなくなく，速やかに校庭に避難することができました。避難終了後，消防署の方からの講評では，「先生方の指示を守り，素早く行動し，おしゃべりもしないで大変すばらしい態度でした」とのお話がありました。



東日本大震災から10年がたちました。あの大惨事を忘れることなく，常に緊張感を持ち，子供たちには「命を守る行動」が取れるように指導していきたいと思います。



校長室より



新型コロナウイルスの感染者が全国的に増えてきました。茨城県もステージ３になり，さらなる感染症対策が重要であると考えています。

昨年を振り返ってみると，３月から５月まで３ヶ月に及ぶ休校がありました。その間子供たちは自宅学習となり，不安な日々が続いたことが思い出されます。また，学校が始まってからも，感染症予防のため，学校行事等が制限され，寂しい思いをした子供たちも多かったのではないかと思います。長い教員生活の中ではじめての体験でした。そして，そのような思いを二度と子供たちにさせたくない，と思っていました。

今年は今のところ国や文科省は学校を休校にすることは考えていないようですが，感染の状況によっては，学校生活が制限されることがあるかもしれません。先日，市の校長会があり，今年度の小中学校の水泳学習は健康・安全面を最優先し，実施しないことになりました。また，運動会や遠足，泊を伴う活動等の学校行事は，新型コロナの感染状況を考慮し，慎重に実施していくことになりました。今後は，学校行事等の工夫・改善が各学校での課題になります。今年度から真鍋小学校に赴任し，子供たちが笑顔になるような活動を取り入れていきたいと思っていましたが，このような状況になり，校長として残念でなりません。しかし，子供たちの健康や安全を考えると仕方がないことなのかもしれません。

「ウィズコロナ」とも言われています。コロナ禍の中，子供たちにとって何が大事なのかをよく見極め，健康で充実した学校生活を目指して学校経営に取り組んでいくことが大切だと考えます。学校は，子供たちの笑顔が１番です。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。